

試験問題

令和7年度 大学院 システム工学研究科 システム工学専攻
博士前期課程 入学選考（2月期）

コース：建築コース 科目名 [構造力学]

令和7年2月15日（土）実施

システム工学研究科では、入学試験の公平性の維持と効率化を目的として、あらかじめ問題を蓄積して活用し、複数回の入学試験を実施することがあるため、試験問題は公開していません。

解答または解答例

令和7年度 大学院 システム工学研究科 システム工学専攻
博士前期課程 入学選考（2月期）

コース：建築コース 科目名 [構造力学]

令和7年2月15日（土）実施

システム工学研究科では、入学試験の公平性の維持と効率化を目的として、あらかじめ問題を蓄積して活用し、複数回の入学試験を実施することがあるため、解答または解答例を公開していません。

出題の意図

令和7年度 大学院 システム工学研究科 システム工学専攻 博士前期課程 入学選考（2月期）

コース：建築コース 科目名 [構造力学]

令和7年2月15日（土）実施

[1]

モールの定理を用いて梁の変位を求める問題で、静定梁の変位を求める計算能力を評価する。

また、静定力学問題の梁の反力、応力を求める基本的な知識・能力も合わせて評価する。

[2]

仮想仕事法によるラーメンの変位を求める問題で、静定骨組の変位を求める計算能力を評価する。

また、定積分などの計算能力も合わせて評価する。

[3]

たわみ角法によってラーメンの曲げモーメントを求める問題で、不静定骨組の応力を求める計算能力を評価する。

また、連立方程式などの計算能力も合わせて評価する。